

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●メール誤送信による個人情報流出相次ぐ…ファイル添付・アドレス入力のミス重なるケースも

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2404/22/news138.html>
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/news/customer/2024/240419.html>
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2404/19/news141.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 4月19日(日本時間)、**大塚商会**より、同社顧客の**個人情報**が**メールの誤送信により外部に流出**したと発表されました。
- 対象となるのは、同社サービス「たよれーる」および複合機保守サービスに個人名義で登録している顧客**2,687人分の氏名**とのことです(**住所・電話番号・メールアドレスおよび取引内容は含まれない**とのことです)。
- 同17日には同様の事案として、**東映太秦映画村**より、**イベント参加応募者1,223名分の氏名・メールアドレス等**が**掲載されたリスト**を誤って**当選者の一部に送信**したことが発表されています。

AUS便りからの所感等

- 大塚商会の事案では、2月14日に**業務上必要なファイルをメール送信**した際、当該ファイルに**個人情報が含まれていたこと**、かつ**送信先メールアドレスを誤入力**していたことの**2つの問題が重なった**としています。
- 東映太秦映画村の事案も、当選者71名へのメール送信の過程で、うち2名への送信時に**リストが誤って添付されるミス**が発生したとのことです。
- 今回のように**誤ってファイルを添付**したケース、**誤入力されたメールアドレス(ひいては予め登録していないメールアドレス)**へ送信するケース、他にもメール送信時の個人情報流出事案として**度々報告される、メールアドレスを「Cc:」に列挙してしまうケース**を回避するため、**大量メール発信システムの構築**や**サービスの契約**、あるいは**メーカーで警告を出すアドオン**の検討を強く推奨致します。



大塚商会、メール誤送信で顧客2687人分の個人情報漏えい

© 2024年04月22日 16時30分 公開

[ITmedia]



大塚商会は4月19日、メール誤送信により顧客2687人分の個人情報漏えいしたと発表した。顧客の個人名が含まれるファイルを、社外の特定の1人に送信したという。

メール誤送信に関するお詫びとお知らせ

2024年4月19日

このたび、弊社社員が個人情報を記載したファイルをメールに添付し誤送信いたしました。当該社員の事後確認により誤送信が発覚、弊社調査により2,687名分の個人情報漏えいしたことが判明しました。

ご関係の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

概要

弊社社員がたよれーるサービスおよび複合機保守のお客様にエンジニアを円滑にアサインする社内システムを構築する目的で使用した業務上必要なファイルをメールに添付し送信する際に、添付ファイルの内容および宛先の確認を怠り、社外の特定の1名に誤って送信しました。

当該ファイルに含まれていた個人情報は、個人事業主などで当社のお取引先様名として個人名(氏名)で登録しているお客様のみになります。

大塚商会Webサイトより

個人情報漏えいが発生したのは同社社員が2月14日に送信したメールで、当該社員の事後確認により2月19日に誤送信が判明した。業務上必要なファイルをメール

東映太秦映画村、1223人分の個人情報漏えい イベント当選者に応募者全員のリストをメールで誤送信

© 2024年04月19日 15時10分 公開

[ITmedia]



東映京都スタジオが運営する東映太秦映画村(京都府京都市)は4月17日、メール誤送信により1223人分の個人情報漏えいが発生したと発表した。イベント当選者2人に、応募者の個人情報を記載した添付ファイルを誤って送信したという。

2024年4月17日

メール誤送信による個人情報漏洩についてのお詫びとご報告

このたび、(株)東映京都スタジオが運営する東映太秦映画村において、4月19日(金)に村内で実施するドラマ「君とゆきて咲く〜新選組青春録〜」記者会見への一般参加応募者に関する氏名、およびメールアドレスの個人情報漏えいに関するデータが送られて、当該データに電子メールで送信する事案が発生いたしました。

応募者の情報におきましては、多大なるご不安やご迷惑をおかけすることとなり、心からお詫び申し上げます。

今後、東映太秦映画村従業員ひとり一人が熱心な注意を払い、改めて従業員への個人情報保護教育を徹底し、再発防止に取り組んでまいります。

1. 事案の概要

4月15日(月)15時30分頃より、東映太秦映画村において、4月19日(金)に実施するドラマ「君とゆきて咲く〜新選組青春録〜」記者会見向け、応募者1,223名から一般参加者の抽選を行いました。同日17時頃、参加スタッフ2名が、抽選者全員の氏名と住所・電話番号のデータに、今当選者2名分の氏名とメールアドレス等が記載されたリストを、誤って添付したまま送信してしまいました。同日19時30分頃、当該事案を把握したため、速ちに誤送信先の当該2名に、誤送信したメールアドレスを廃棄するよう依頼しました。

4月19日(金)、漏えいした個人情報に該当する当選者全数(1,223名)に、お詫びとご報告の旨と抽選の抽選者電子メールにて送信いたしました。

※誤送信したメールの廃棄については、4月19日までに確認が完了した後、当該漏えい2名の方に連絡をしております。

東映太秦映画村Webサイトより

漏えいした個人情報は、4月19日に同施設で実施するドラマ「君とゆきて咲く〜新選組青春録〜」記者会見の、一般参加応募者に関する氏名とメールアドレス。当

●管理コードに学年と出席番号使用…生徒用タブレットに卒業生の成績が表示



<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/kyoiku/news/20240409-OYT1T50177/>
<https://www3.nhk.or.jp/news/oita/20240409/5070018231.html>

このニュースをザックリ言うと…

- 4月9日(日本時間)、複数のメディアより、大分市の大分舞鶴高校で**生徒に貸与したタブレット端末に他の生徒の成績が表示されるトラブルがあったと**報じられました。
- 同校および大分県教育委員会の発表によれば、同5日に同校3人の生徒から、端末で自分の成績を見ようとしたところ、**3月に卒業した別の生徒の成績が表示された**との報告があったとしています。

AUS便りからの所感

YOL 読書新聞

- 生徒のテストの成績を管理するシステムにおいて、**管理コードとして生徒の学年と出席番号**を使用していたため、**卒業生に対する管理コードがそのまま下級生に割り当てられたのが原因**とされています。

- **学籍番号等、個々の生徒に一意に割り当てられる番号が別途存在しているはずであり、これを管理コードとすべきだった**と言えます。

各生徒に貸与のタブレットに卒業生の成績表示…採点補助システムに学年や出席番号使う

2024/04/10 06:37

この記事をスクラップする

大分市の大分舞鶴高で、各生徒に貸与しているタブレット端末に別の生徒の成績が表示される状態になっていたことが9日、同高などへの取材で分かった。採点補助システムの管理番号に、推奨されていない学年や出席番号などを使っていたことが原因で、同高は成績を知られた卒業生らに謝罪した。



同高と県教育委員会によると、システムは教職員の採点業務の効率化を目的に今年度、全ての県立中学・高校に実装され、生徒が自分で成績を確認できる。大分舞鶴高では他校に先駆け、試験的に昨年度から利用していた。

今月5日、生徒1人がタブレット端末で自身の成績を見ようとしたところ、3月に卒業した生徒の成績が表示された。他にも2人から同様の連絡があった。

●ゴールデンウィークにおけるセキュリティ面の注意喚起、IPA・LACより発表



<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/heads-up/alert20240422.html>
https://www.lac.co.jp/lacwatch/media/20240422_003822.html

このニュースをザックリ言うと…

- 4月22日(日本時間)、IPAより、「**2024年度 ゴールデンウィークにおける情報セキュリティに関する注意喚起**」が発表されました。
- GW等長期休暇の時期、企業・組織によっては、「**システム管理者が長期間不在になる**」「友人や家族と旅行に出かける」等、**いつもとは違う状況になり、ウイルス感染・不正アクセス等の被害発生時の対処が遅れる**、あるいはSNSへの書き込み内容から思わぬ被害が発生する等の可能性があることを鑑み、「**企業や組織の管理者**」「**企業や組織の利用者**」「**個人の利用者**」それぞれを対象に、「**休暇前**」「**休暇中**」「**休暇明け**」に行うべき基本的な対策と心得が「**長期休暇における情報セキュリティ対策**」においてまとめられています。
- 同日には、LACからも「**GW目前！大型連休に向けて注意したいセキュリティリスク**」と題した記事が発表されています。

AUS便りからの所感



- IPAの発表は基本的に2023年~2024年の**年未年始の時などと大きく異なるようなものではありません**が、「**企業や組織の方々へ**」と題し、「**インターネットに接続された機器・装置類の脆弱性を悪用するネットワーク貫通型攻撃**」が相次いでいるとして注意喚起しています。

- GWまでに日にちがなく十分な対応が間に合わなかったとしても、**GW明け以降に点検すべきことは多く存在しますし、以後も夏季休暇等に備えて対応しておくべき事柄も変わらず、また長期休暇に関係なく常時から注意すべき普遍的なものも**「**日常的に実施すべき情報セキュリティ対策**」(<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/measures/everyday.html>)として別途まとまっております、**それぞれにおいて準備・点検を行うよう意識**していくことが肝要です。

2024年度 ゴールデンウィークにおける情報セキュリティに関する注意喚起

公開日：2024年4月22日
独立行政法人情報処理機構
セキュリティセンター

多くの方がゴールデンウィークの長期休暇を取得する時期を迎えるにあたり、IPAが公開している長期休暇における情報セキュリティ対策をご案内します。

長期休暇の時期は、システム管理者が長期不在になる等、いつもとは違う状況になりがちです。このような状況でセキュリティインシデントが発生した場合、対応が遅れが生じたり、想定していなかった事象へと発展したりすることにより、思わぬ被害が発生したり、長期休暇後の業務継続に影響が及ぶ可能性があります。

このような事象とならないよう、(1)個人の利用者、(2)企業や組織の利用者、(3)企業や組織の管理者、それぞれの対象者に対して取るべき対策をまとめています。また、長期休暇に限らず、日常的に行うべき情報セキュリティ対策も公開しています。

長期休暇における情報セキュリティ対策
日常における情報セキュリティ対策

上記リンク先において、対象分野に参照すべき範囲は以下のとおりです。

(1) 個人の利用者：個人向けの対策 (3)
(2) 企業や組織の利用者：個人及び企業・組織のシステム利用者向けの対策 (2-2/3)
(3) 企業や組織の管理者：個人、企業・組織のシステム利用者及び管理者向けの対策 (2-1/2-2/3)

被害に遭わないためにもこれらの対策の実施をお願いします。